

平成29年度 地域連携活動報告書

連携先名称	茨城県	担当教員	地域創成科学科 宮林茂幸
活動状況	継続中	関連教員	農山村支援センター
協定締結日	2014年7月17日	活動資金	補助金
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年から29年度にかけて、茨城県庁事業として実施した中山間地域アグリビジネス創生モデル調査事業の一環として、農林水産省補助事業を活用して立ち上げたプロジェクトについてのフォローを行っている。 ・高萩市市では、市内高岡地区を対象に、地区内にある花貫物産センターの新しいお土産づくりとして、休耕田対策で栽培するもち米を活用した団子、あられ等の米菓子、わら細工商品の開発に取り組んでいる。 ・城里町では、獣害対策の一環として、捕獲されたイノシシの皮と肉の利用を促進するプロジェクトを立ち上げている。「しろしし（城里のイノシシ）」という地域ブランドを立ち上げ、商品普及に取り組んでいる。 ・常陸太田市では、柿の特産品づくり、定年帰農者による枝物栽培農家拡大のための研修事業を、常陸大宮市では、道の駅開業に合わせてスタートした荏胡麻栽培とその油の販路拡大、久慈川河畔の荒廃竹林の再生とタケノコの有効活用等の事業を進めている。 		
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業で取り組んでいる商品は、地元道の駅や直売所等での販売がスタートしている（城里町は平成31年度から）。これら商品については、平成30年度の収穫祭に出店した学生による即売店での販売が行われた（「茨城県人会」）。 ・中山間アグリビジネス調査事業の一環として実施したプロジェクトについて、その立ち上げ方等をまとめたマニュアルを用いた県庁職員向けの研究事業を実施した（平成31年3月28日） 		
課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・城里町事業における商品化の推進 ・補助事業終了後の自立化に向けた組織体制強化 		